



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

2020年8月5日朝刊 西部版

①記事の安全講習会で、塾生の小学生は何を学びましたか。

()

②溺れた人を救助するとき、浮き輪の代わりに利用できるものは何ですか。

()

③自分が溺れたときにはどのようにすればいいですか。

()

④水面に浮かぶときのコツが書いてあるところに線を引きましょう。

⑤今年(2020年)、水難事故で例年と違って注意すべきことは何ですか。

[]



佐々木さん(左)からアドバイスを受け、水面に浮かぶ練習をする塾生ら＝湖西市の新居井天海水浴場

塾長の佐々木善之さん(40)が溺れた人を救助する際の対応を指導。空のペットボトルに少量の水を入れて投げれば浮輪の代わりに利用できることを伝えた。自分が溺れた場合には、流れに逆らわずに水面に浮いて助けを待つようにアドバイスした。子どもたちは「顔を空に向けて」「力を抜いて体を真つすぐに」などコツを教わり、水面に浮かぶ練習に取り組んだ。

湖西市の自然体験教室「野遊び塾」はこの夏、同市の浜名湖沿いで安全講習会を行った。塾生の小学生約20人、同市の浜名湖沿いで安全講習会を行った。塾生の小学生約20人、同市の浜名湖沿いで安全講習会を行った。

水難事故から命守ろう

湖西市の自然体験教室「野遊び塾」は、小学生を対象に講習会を開いた。

講習会は海で遊ぶ機会が増える時期に毎年実施。佐々木さんは、視覚がいけない場所が多いことを念頭に「自分の命は自分で守れるようにしてほしい」と話した。

湖西市の自然体験教室「野遊び塾」は、今年も安全講習会を行った。講習会は海で遊ぶ機会が増える時期に毎年実施。佐々木さんは、今年が新型コロナウイルスの影響で海水浴場の開場が中止され、監視員が少ない場所が多いことを念頭に「自分の命は自分で守れるようにしてほしい」と話した。

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／保健体育、特別活動)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2020年8月5日朝刊 西部版

①記事の安全講習会で、塾生の小学生は何を学びましたか。

(**水難事故の際の救助**
や自己防衛の方法)

②溺れた人を救助するとき、浮き輪の代わりに利用できるものは何ですか。

(**少量の水を入れた**
空のペットボトル)

③自分が溺れたときにはどのようにすればいいですか。

(**流れに逆らわずに水面に浮いて助けを待つ。**)

④水面に浮かぶときのコツが書いてあるところに線を引きましょう。

3段16行目～「顔を空に向けて」「力を抜いて体を真つすぐに」に線を引く。

⑤今年(2020年)、水難事故で例年と違って注意すべきことは何ですか。

新型コロナウイルスの影響で海水浴場の開場が中止され、監視員のいない場所が多いこと。



佐々木さん(左)からアドバイスを受け、水面に浮かぶ練習をする塾生ら＝湖西市の新居井天海水浴場

塾長の佐々木善之さん(40)が溺れた人を救助する際の対応を指導。空のペットボトルに少量の水を入れて投げれば浮輪の代わりに利用できることを伝えた。自分が溺れた場合には、流れに逆らわずに水面に浮いて助けを待つようにアドバイスした。子どもたちは「顔を空に向けて」「力を抜いて体を真つすぐに」など、コツを教わり、水面に浮かぶ練習に取り組んだ。

湖西市の自然体験教室「野遊び塾」はこの夏、同市の浜名湖沿いで安全講習会を行った。塾生の小学生約20人、同市の浜名湖沿いで安全講習会を行った。塾生の小学生約20人、同市の浜名湖沿いで安全講習会を行った。

水難事故から命守ろう

湖西市の自然体験教室「野遊び塾」は、小学生を対象に講習会を開いた。

講習会は海で遊ぶ機会が増える時期に毎年実施。佐々木さんは「自分の命は自分で守れるようにしてほしい」と話した。湖西市・大沼雄大

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／保健体育、特別活動)